



「2030年度燃費基準95%達成車」  
e:HEV Z(FF)  
e:HEV Z 特別仕様車 BLACK STYLE(FF)



「2030年度燃費基準90%達成車」  
e:HEV X(FF/4WD)  
e:HEV X 特別仕様車 BLACK STYLE(FF/4WD)  
e:HEV Z (4WD)  
e:HEV Z 特別仕様車 BLACK STYLE(4WD)



「平成30年排出ガス基準75%低減レベル」認定車  
e:HEV



「平成30年排出ガス基準50%低減レベル」認定車  
ガソリン車

車両型式		6AA-RZ4		6AA-RZ6		5BA-RZ3		5BA-RZ5		
基礎情報	原動機	LFC-H4				L15C				
	総排気量(L)	1.993				1.496				
	駆動方式	FF		4WD		FF		4WD		
駆動装置	変速機	—				CVT				
	燃料消費率*1	燃費(km/L)*2	22.1	22.0	21.7	21.5	14.6	14.5	13.9	
環境性能情報	WLTCモード	市街地モード(WLTC-L)	19.7	19.4	19.3	19.5	10.5		10.3	10.2
		郊外モード(WLTC-M)	24.7		24.1	23.9	15.4	15.3	14.7	14.8
		高速道路モード(WLTC-H)	21.7		21.4	21.1	16.8	16.6	15.7	
		CO <sub>2</sub> 排出量(g/km) (燃費からの換算値)	105.1	105.5	107.0	108.0	159.0	160.1	167.0	
		参考	2030年度 燃費基準 90%達成車	2030年度 燃費基準 95%達成車	2030年度燃費基準90%達成車		—			
	排出ガス	適合規制・認定レベル	平成30年排出ガス基準75%低減				平成30年排出ガス基準50%低減			
排出ガス	試験モード	CO	1.15				—			
		NMHC	0.025				0.05			
		NO <sub>x</sub>	0.013				0.025			
		PM	0.005				—			
	参考	九都県市指定低公害車の基準に適合 (平成30年基準)				—				
適合騒音規制レベル	平成28年騒音規制 規制値: 加速走行70dB(A)									
エアコン冷媒	種類/GWP値*3	HFO-1234yf/1*4								
	使用量	470g								
車室内VOC	自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)									
環境負荷物質削減	鉛*5	自工会2006年目標達成(1996年使用量*6の1/10)								
	水銀*7	自工会目標達成(2005年1月以降使用禁止*8)								
	六価クロム	自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止)								
	カドミウム	自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)								
	自工会目標適用除外部品	*5:鉛バッテリー(リサイクル回収ルートが確立されているため除外) *7:ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージヘッドランプ、室内蛍光灯(交通安全上必須な部品の極微量使用を除外)								
リサイクル	樹脂、ゴム部品への材料表示	100g以上の樹脂部品全て								
	リサイクルし易い材料*9を使用した部品	インパネ表皮、エンジンハーネス、グローブボックス、サンバイザー、シート表皮、シフトノブ、センターコンソール、ドアハーネス、ドアライニング、バンパーフェース、ピラーガーニッシュ、メインハーネス、リザーブタンクなどの内外装部品								
	再生材を使用している部品	アンダーカバー、エアアウトレット、エアコンダクト、吸音材								
	リサイクル可能率	車全体で95%以上*10								
環境負荷物質使用状況等	鉛	使用部品:塩ビ・ゴム部品、電子基盤、電気部品のはんだ								
	水銀	全廃済み								
	六価クロム	全廃済み								
	カドミウム	全廃済み								
その他	グリーン購入法適合状況	グリーン購入法適合車				—				

\*1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。  
\*2 WLTCモード:市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード:信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード:信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード:高速道路等での走行を想定。  
\*3 GWP: Global Warming Potential(地球温暖化係数)  
\*4 フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められています。  
\*5 1996年乗用車の業界平均使用量は1850g(バッテリーを除く)。  
\*6 交通安全上必須な部品の極微量使用を除外。  
\*7 ポリプロピレン、ポリエチレンなどの熱可塑性プラスチック。  
\*8 「新型車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン(1998年 自工会)」に基づき算出。  
\*9 この環境仕様書は2022年11月現在のものです。